

福島経済マンスリー

5月の県内経済は、一部に消費増税前の駆け込み需要による反動減がみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成26年5月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、一部に消費増税前の駆け込み需要による反動減がみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、スーパーで消費増税前の駆け込み需要による反動が解消して前年を上回ったことから、合計では2ヵ月ぶりで前年比で増加した。一方、新車登録台数は、2ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月連続、請負金額と保証金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数および床面積、工事費予定額がそれぞれ2ヵ月連続で前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は合計で2ヵ月ぶりで前年を上回った。内訳をみると、貸家が2ヵ月連続で前年を下回ったものの、分譲が2ヵ月連続、持家が3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月ぶりで減少したものの、前年比は8ヵ月連続で増加した。業種別の前月比をみると、5業種で増加し、14業種で減少した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回り、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は8ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は4月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		25年12月	26年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	1.5	1.7	△ 0.1	11.3	△ 2.4	3.7
	乗用車新車登録台数	25.7	26.8	22.3	19.1	△ 14.3	△ 10.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 22.2	341.2	△ 18.2	60.8	△ 40.9	219.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	187.2	17.4	193.7	△ 20.4	△ 21.4	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	45.5	18.7	44.6	5.1	△ 19.0	16.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	10.5	14.4	8.8	16.5	7.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.14	0.11	0.12	0.16	0.17	0.18
	雇用保険受給者実人員	△ 3.9	△ 11.0	△ 11.6	△ 10.8	△ 16.7	△ 21.0

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		25年12月	26年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	27.5	△ 19.1	△ 12.1	28.4	△ 18.9	9.0
	乗用車新車登録台数	△ 11.7	26.4	7.4	54.6	△ 59.6	3.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 38.5	217.6	△ 75.6	373.1	△ 46.9	68.5
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	108.5	△ 48.3	48.3	△ 45.6	17.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	5.6	△ 29.2	60.8	△ 26.2	△ 22.9	23.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	2.5	4.9	△ 4.2	13.7	△ 10.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	0.02	0.01	0.01	0.04	0.03	0.05
	雇用保険受給者実人員	△ 1.3	△ 1.4	△ 5.4	0.8	△ 0.6	7.6

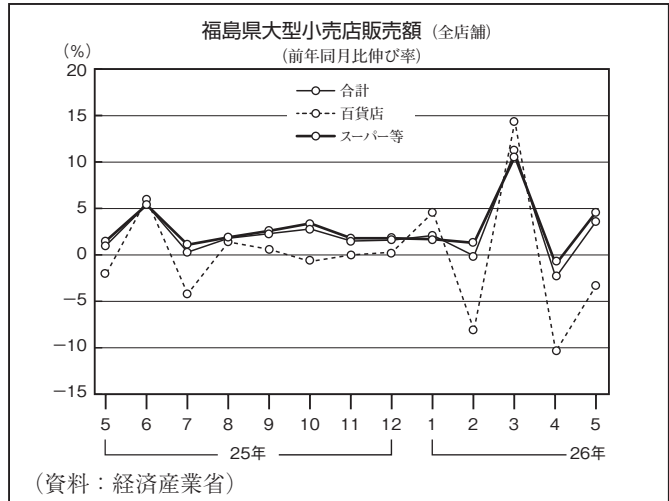
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

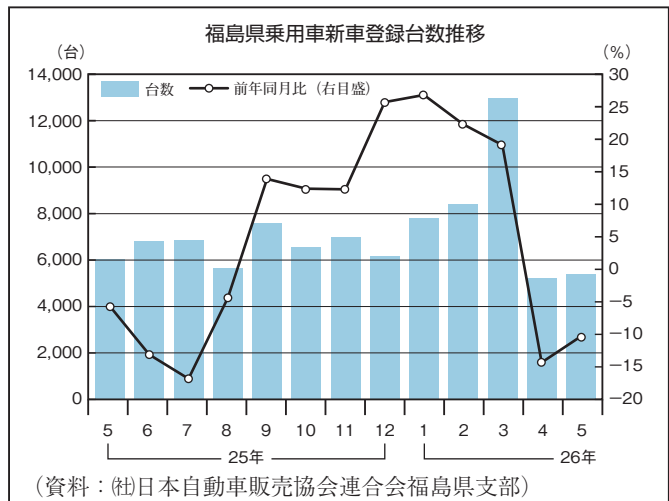
大型小売店：2ヵ月ぶりで前年比増

5月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で205億37百万円（前年同月比+3.7%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では同△3.2%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったため、合計では同+4.7%となった。



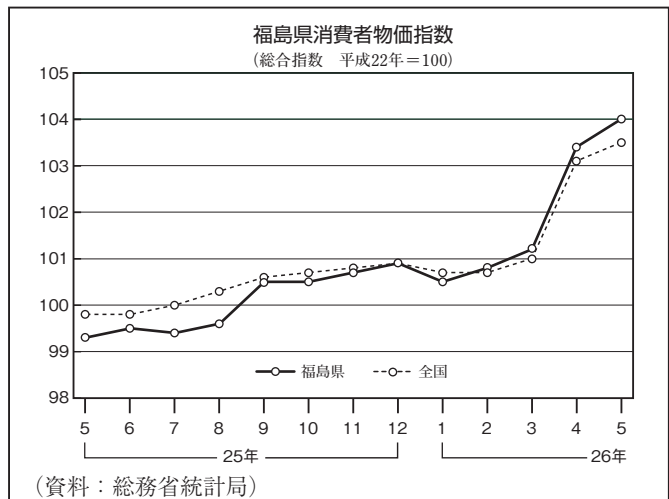
乗用車販売：2ヵ月連続で前年比減

5月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,396台（前年同月比△10.3%）となり、2ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,432台（同+3.2%）と2ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、普通車は1,431台（同△19.1%）、小型車は1,533台（同△19.0%）とともに2ヵ月連続で前年を下回った。



消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

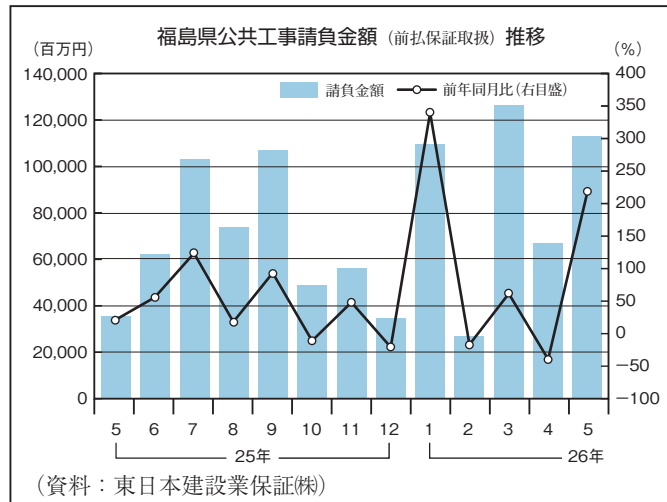
5月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.0と前月比で+0.5%、前年同月比では+4.7%となった。費目別にみると、「光熱・水道」の119.7（前月比+3.5%）など、6費目が前月比で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

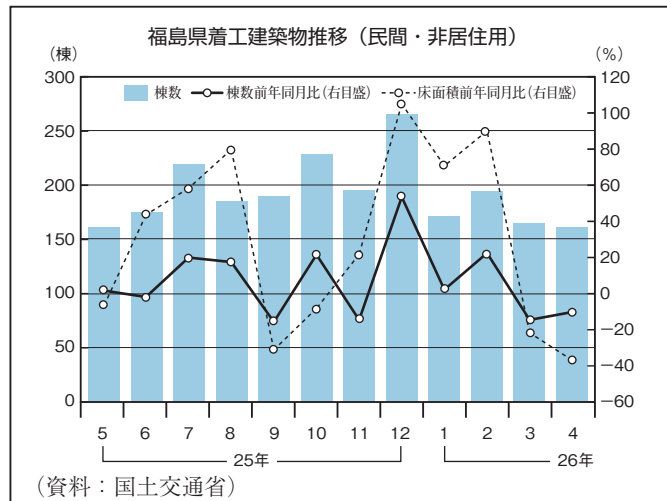
5月の公共工事前払保証取扱は、件数が549件（前年同月比+25.3%）と2ヵ月連続で前年を上回った。また、請負金額は1,130億34百万円（同+219.0%）、保証金額は504億62百万円（同+208.3%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比減

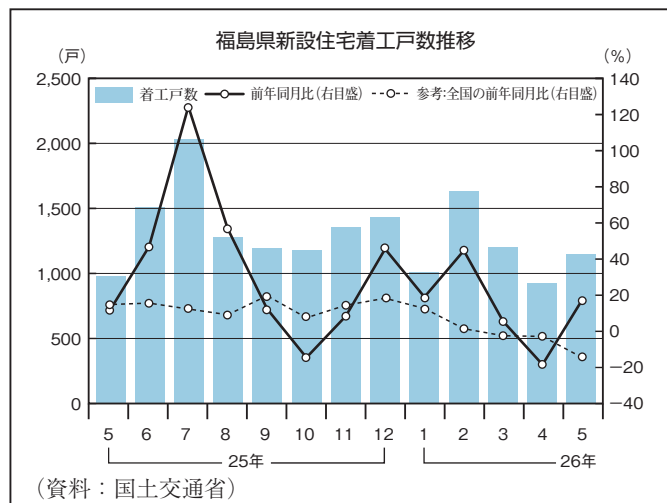
4月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が161棟（前年同月比△10.1%）、工事費予定額が137億6百万円（同△21.4%）、床面積が67,015㎡（同△37.0%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比増

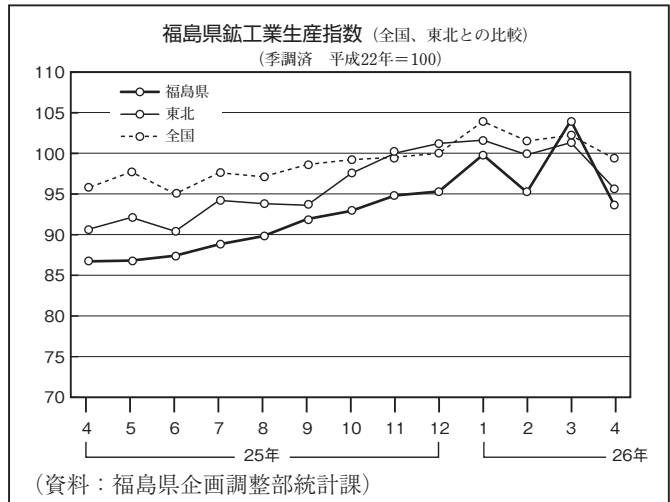
5月の県内新設住宅着工戸数は、1,148戸（前年同月比+16.8%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「貸家」が370戸（同△0.3%）と2ヵ月連続で前年を下回ったものの、「分譲」が124戸（同+396.0%）と2ヵ月連続、「持家」が627戸（同+8.5%）と3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：8ヵ月連続で前年比増

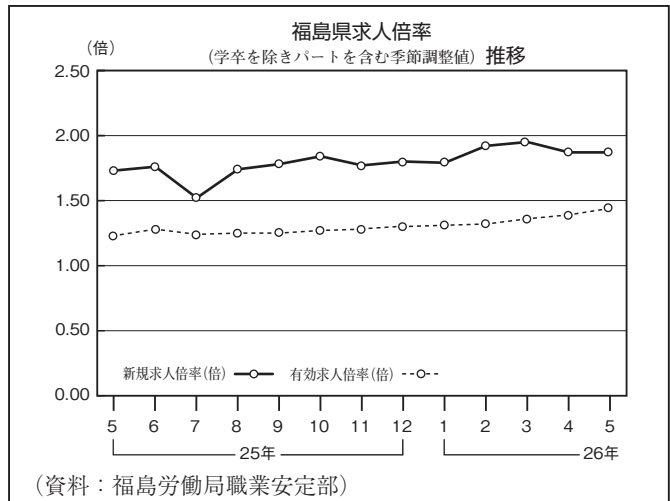
4月の鉱工業生産指数は、93.5（季節調整値）で前月比△10.1%と2ヵ月ぶりで前月を下回ったが、原指数が89.7で前年同月比+7.8%と8ヵ月連続で前年を上回った。業種別の季節調整値をみると、「その他製品工業」（前月比+21.9%）など5業種で上昇したが、「繊維工業」（同△49.7%）など14業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は50ヵ月連続前年比増

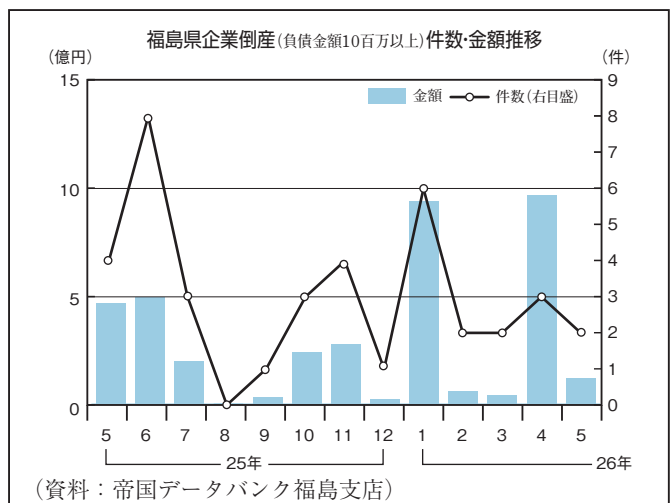
5月の新規求人倍率は、季節調整値が1.87倍（前月比0.00ポイント）、原数値が1.73倍（前年同月比+0.14ポイント）となった。また、5月の有効求人倍率は、季節調整値が1.44倍（前月比+0.05ポイント）、原数値が1.27倍（前年同月比+0.18ポイント）と50ヵ月連続で前年を上回った。一方、5月の雇用保険受給者実人員は7,191人（前年同月比△21.0%）と8ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債額とも前年比で減少

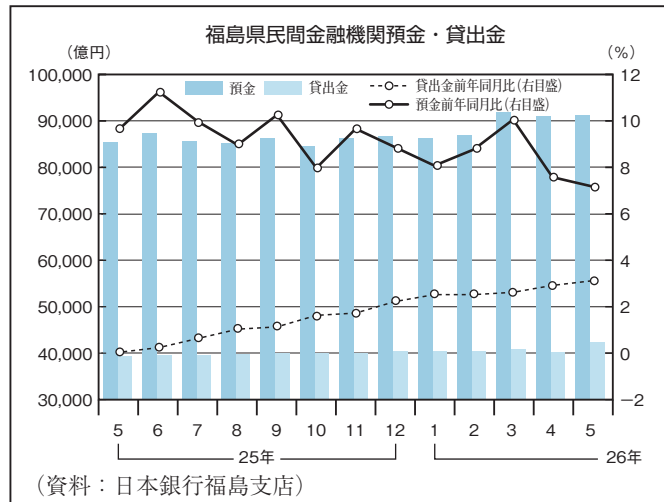
5月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2件（前年同月比△50.0%）、負債総額が1億19百万円（同△74.7%）となり、件数、負債総額とも前年を大きく下回った。業種別では、建設業、製造業で各1件となった。



金融動向

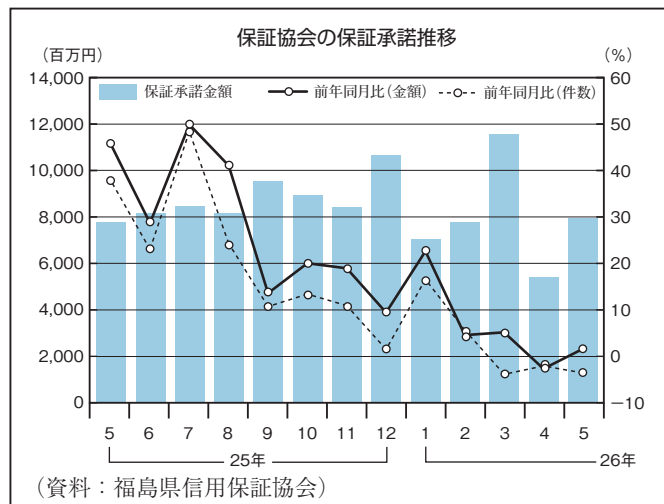
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の5月末の預金残高は、9兆1,486億円（前年同月比+7.2%）と87ヵ月連続、貸出金残高は、4兆428億円（同+3.1%）と12ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数が前年比減

5月の保証承諾は、件数が765件（前年同月比△3.8%）、保証金額が79億8百万円（同+1.4%）となった。また、5月末日現在の保証債務残高は、件数47,849件（同△2.7%）、金額4,267億61百万円（同△7.6%）となった。一方、5月中の代位弁済は、件数が14件（同△58.8%）、金額が73百万円（同△76.3%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 5月の家電量販店の売上高は、パソコンが前年を上回ったものの、消費増税前の駆け込み需要による反動減が窺えたエアコンや冷蔵庫、洗濯機などがいずれも前年を下回ったことから、合計では前年を10%ほど下回った。

ホームセンター 5月のホームセンターの売上高は、エクステリアや園芸などが前年を上回ったものの、それ以外の商品が前年を下回ったことから、合計では前年を3%程度下回った。

旅行 4月の旅行取扱額は、国内旅行が団体向けを中心に前年を下回ったことなどから、合計では前年実績を20%以上下回った。

高速道路 5月の県内自動車道出入台数は、合計で5,043,886台（前年同月比△1.6%）と、2ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,225,163台（同+6.3%）と3ヵ月連続で前年を上回った。一方、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,715,523台（同△2.9%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は654,597台（同△9.1%）とともに2ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は448,603台（同△1.9%）と5ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

福島空港 5月の福島空港国内定期路線の利用状況は、20,391人（前年同月比+0.9%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,981人（同△4.1%）、大阪便は12,410人（同+4.4%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 5月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要が振るわないものの、国内需要が堅調であることから、前年並みの生産水準を確保している。

鉄鋼・金属 5月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年を10%ほど上回る水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安の影響が続いており、前年を15%程度上回る生産を確保した。建機用鋳造品は、中国やオーストラリアを中心に海外からの受注が減少したことから、合計で前年を50%ほど下回る生産となった。陸船用バルブは、需要の低迷と中国などの低価格品との競合が続いており、前年を10%以上下回る生産となった。

輸送用機械 5月の鋳造品は、トラック向けがタイの需要に不透明感が出ていることや消費増税前の駆け込み需要による反動などから、合計では前年を5%程度下回る生産となった。また、オイルシールは、東南アジアを中心に輸出が増加したことから、前年を5%ほど上回る生産となった。

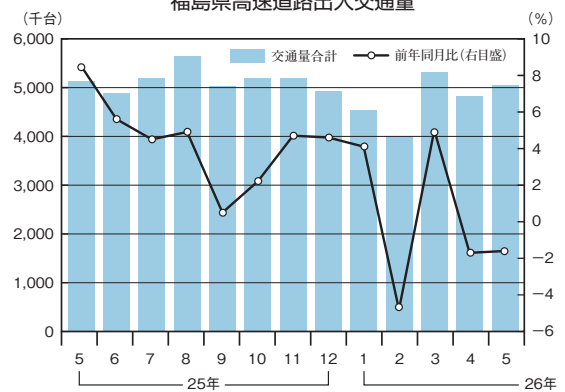
電気機械 5月の電気機械は、誘導炉と変圧器の生産が前年を上回ったものの、配電盤が前年比で減産となったことから、合計では前年並みの生産にとどまった。

情報通信機械 5月の情報通信機械は、マイクロ波通信機器などの無線通信機器と国内向けモバイル基地局の生産がいずれも堅調だったことなどから、合計では前年を10%以上上回る生産となった。

電子部品・デバイス 5月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を20%ほど下回ったものの、一部製品の増産により前月を10%ほど上回った。

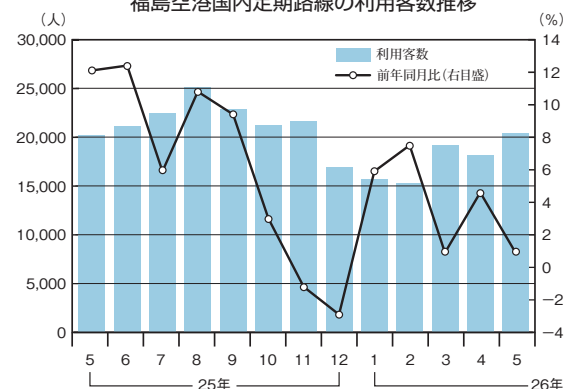
精密機械 5月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なこと

福島県高速道路出入交通量



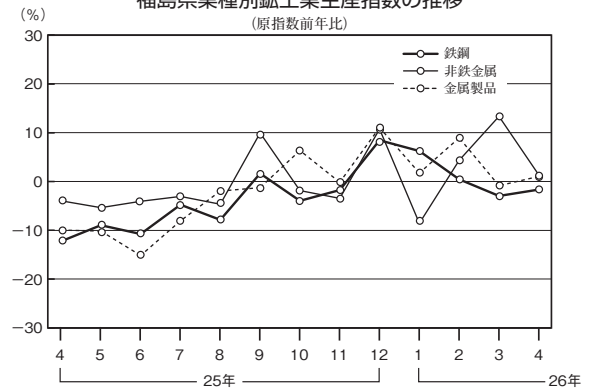
(資料：東日本高速道路㈱東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



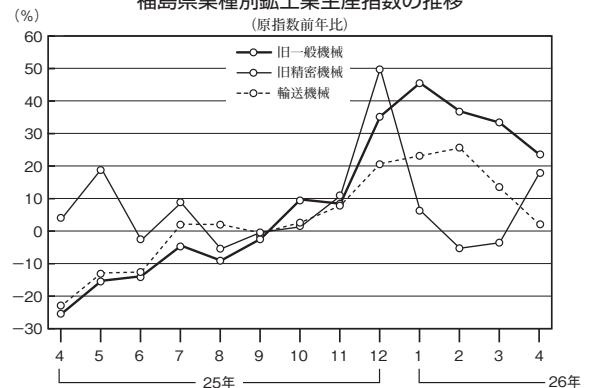
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

から、合計では前年を15%程度上回る生産水準を確保した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、海外からの受注が増加しており、前年を20%以上上回る生産となった。

紙・紙加工品 5月の製紙は、消費増税前の駆け込み需要による反動減がほとんどみられず、ノーカーボン紙などの増産が続いており、合計では前年を3%ほど上回る生産となった。

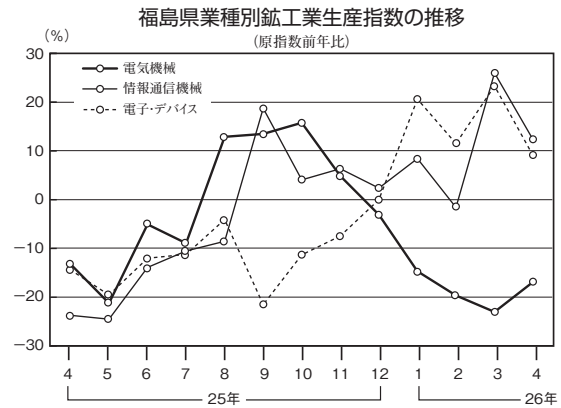
窯業・土石 5月の生コンクリート出荷量は、全体で154,444m³（前年同月比+5.7%）と3ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、民需は6地区すべてが前年を上回り、合計で同+39.3%となった。一方、官公需は、白河、いわき、相双の3地区が前年を下回ったことから、合計で同△11.3%となった。

清酒 5月の清酒移出数量は、923kl（前年同月比△8.2%）と2ヵ月連続で前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が410kl（同△5.9%）、一般酒（特定名称酒以外の酒）が514kl（同△9.9%）と、ともに2ヵ月連続で前年を下回った。

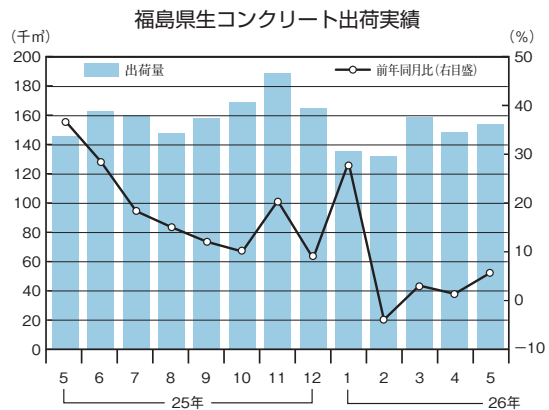
化合繊維物 5月の化合繊維物は、単価の高い製品にシフトしている影響などから、生産量が前年を15%ほど下回ったものの、売上高では前年を5%程度上回った。

ニット 5月のニットは、秋冬物サンプルの生産が中心となり、前年を10%ほど上回る生産を確保した。

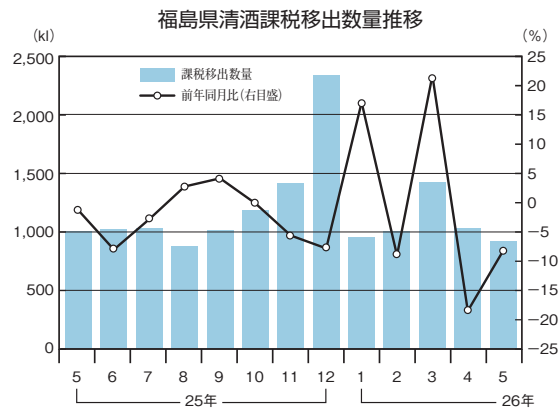
大口電力 5月の大口電力販売量は、449百万kw/h（前年同月比△0.7%）と8ヵ月ぶりで前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で92百万kw/h（前年同月比△0.6%）、「電気機械」で72百万kw/h（同+1.7%）、「輸送用機械」で50百万kw/h（同△0.3%）、「化学」で46百万kw/h（同+0.3%）、「一般機械」で23百万kw/h（同+1.1%）、「紙・パルプ」で15百万kw/h（同△19.9%）となっている。



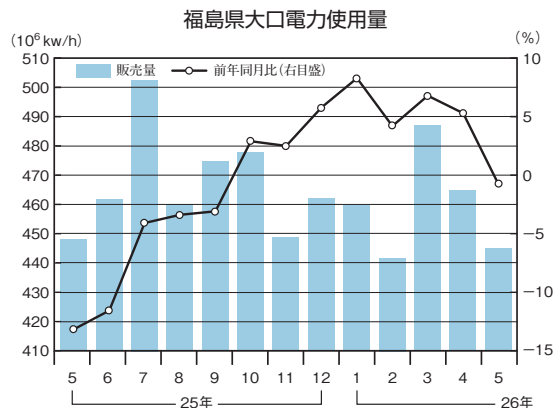
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)